

## ◇令和3年度学校評価について (保護者(47人/49家庭)より回答)

※数字は肯定的な回答(よく、どちらかといえば)をした人数の割合(%) ☆:児童への質問

○:前年比+3~6P ◎:同+6P以上 △:同-3~6P ▲:同-6P以上

めざす子ども像	<評価項目>	児童	保護者	教職員
しっかりと考えることができる子ども	勉強や宿題、自主学習をがんばっている。	▲75	○68	△89
	学校は意欲的に学習に取り組む授業を工夫している。(☆授業はよくわかる)	88	◎96	100
	☆勉強や休み時間に進んで図書館を利用している。	58	/	/
友だちとなかよく生活する子ども	楽しく学校に行っている。	85	○93	100
	学校は、子ども達のことについて相談し適切に応じている。	85	○93	100
	☆学校には友だちがいる。	○96	/	/
	☆学校や地域であいさつをすすんでしている。	▲78	/	/
心も体も元気な子ども	☆時間いっぱい掃除をしている。	94	/	/
	学校は、子ども達が体力づくりに取り組む工夫をしている。	○86	◎83	◎100
	☆早寝・早起き・朝ごはんができています。	○85	/	/
開かれた学校づくり	感染症予防対策に配慮して教育活動に取り組んでいる。	△80	◎98	94
	地域の特色を生かした教育を行っている。	/	○89	100
	学校だよりや学級だよりは、学校や学級の様子をよく伝えられている。	/	○96	100

保護者の皆様にご協力していただいた学校評価に児童・教職員の学校評価を加えたものを3月3日の第2回学校評議員会で説明し、評議員の皆様からご意見、ご感想をいただきました。

いただいたご意見や学校評価を、来年度よりよい学校経営、よりよい子どもたちの成長へとつなげていきます。ご協力ありがとうございました。

<評議員の皆様より>

○あいさつについて~地域や家庭でも人と接する機会が少ない。自分からあいさつできる子どもが少ない。子どもだけではなく大人も挨拶をしないといけない。

○ふるさと教育について~学校が主体として活動されることに地域・交流センターも協力していく。大人が手をほどこすだけでなく、子どもが主体となって苦勞をしながらも体験していく活動を進めてほしい。

○宿題について~児童クラブなどでわからないことをなかなか受け入れられない児童がいる。宿題の出し方について学校としてどのように考えているのか児童や保護者にももう少し丁寧に説明した方がいいのではないか。

○大人と比べて子どもの評価が低い項目への受け止めと対応は?

学校:項目に対する受け止めに個人差がある。項目の精査が必要。併せて、否定的な回答をした児童については教育相談等をし、教職員全体で共通理解の上、対応をしていく。